

2022年10月1日(土) つつじ読書会

カトリーン・マルサル(1983-) 『アダム・スミスの夕食を作ったのは誰か?』

- マルサルの慧眼は、たんに経済人を批判するのではなく、なぜ経済人が求められるのか、そして、それは私たち自身の欲望にもとづくものではないか、という点を見逃さなかったことだといえる。批判の矛先は、経済人だけではなく、私たち自身にも向けられている。

経済人の薄っぺらさを批判するのはたやすい。人の心の深みや複雑さが考慮されていないじゃないか、と私たちは言う。そんな単純で利己的な人はいない。ただの人形だ。そんなおもちゃをつかってどうするんだ。人間の何がわかるっていうんだ。

でもそういう批判は、大事なことを見落としている。経済人は私たちに似ていないかもしれないが、彼には彼なりの感情の深みや不安や夢があるということだ。だから私たちの心をつかむのだ。(p.217)

経済人が私たちの心をとらえて離さないのは、怖いものを全部忘れさせてくれるからだ。(p.220)

- 所有から居場所をみつけることへ

世界を所有するかわりに、世界に居場所を見つけることができるだろう。(p.248)

【 前回 (2022年9月3日(土)の感想から) 】

- 新自由主義 (サッチャー(1925-2013)・レーガン(1911-2004)) の伸張(1979~)について、みなおされる宇沢弘文のコモン

阿部謹也(1935-2006)の火の話は、コモンを具体的に感じる事ができるエピソードではないか。柳田國男(1875-1962)『火の昔』「火は霊界から発するものという考え方が、マッチやライターの時代のすぐ前までは続いていたのであります」

- 女性の働きかた

母の倫理観は、新しい時代を生きようとしている私に戸惑いを感じさせた。例えば、有給休暇を取ろうとすると、仕事を休んでいいのかと疑問を投げかけた。母はひたすら勤勉が身についていたのだろうか。(つつじ読書会文集 第42号 p.34)

- 女性[文学]、哲学[男性]という棲みわけについて

- 現実と机上の空論、リアリストマルクスと、マザコンスミス

● お金が必要になってくる

【 経済それ自体は必要なものであったはず 】

経済人の経済ではなく、「もっと多様な人間のあり方を受け入れられる社会と経済」。
その経済は、どのように描くことができるだろうか。2つ。

〈 忘却に抗う経済、貨幣には現実を忘れさせる力があり、その力を知っておくこと 〉

○ 中沢新一 (1950-) (『愛と経済のロゴス』2003 講談社選書メチエ)

古代ギリシャの賢王ミダスは、貨幣というものが発明されたことを知って、これをみずから手にしてみました。とたんに怖ろしい予感におそわれて、思わず手にした貨幣を取り落して、こう叫んだと言われています。「この貨幣というものは、大地を殺すであろう」。ミダス王は、貨幣そのものが大地への呪いである、と直観したのです。貨幣は大地を殺す—このことばは、いったいどういう意味をもっているのでしょうか。(略)貨幣は溶けた金属の流動体に、王たちがスタンプを押すことによって、価値を表現し、保持する物質に変わります。このプロセスを見ていたミダス王は、そこにいま世界の姿を一変させてしまうような、由々しい変化の兆しを直観したというわけです。表現が現実(リアル)の上に覆いかぶさってしまうと、とたんに現実は見えなくなり、そのうちそんなものは存在しないと思われるようになります。(略)この貨幣によって富が表現され、計算され、保持されるようになると、純粹贈与という「リアル」は殺されて、そのうち誰にも見えなくなってしまうという直観ですね。(p.110)

○ カール・マルクス (1818-1883) (『市民社会における貨幣の権力』ちくま哲学の森 所収)
現存しつつみずからを確証していく価値概念としての貨幣は、あらゆる事物をすりかえ、ごまかすのだから、それは、あらゆる事物の一般的すりかえとごまかしとに、したがってあらゆる自然的・人間的性質のすりかえとごまかしたる転倒された世界にほかならない。勇気を買うことのできるものは、たとえ臆病だったとしても、勇敢である。(略)それは、できぬことどうしの融和であって、矛盾しあっているものどうしに接吻をしいる。前提が人間としての人間であり、また世界にたいする人間的な関係としてのかれの関係であるような場合には、きみは愛情をもつばら愛情とのみ、信頼をもつばら信頼とのみ交換できる。(略)もしもきみが、相手の愛をよびさますことなく愛したとすれば、すなわちもしもきみの愛が愛として相手の愛をよびさまなかつたとすれば、もしもきみが、愛する人間としての生活表明を介して、愛されている人間になることがなかつたとすれば、きみの愛は無力であり、一つの不幸である。